

リニア関連の教育は不要だ！

「令和3年度社員教育について」業務委員会

本部は3月22日、「令和3年度社員教育について」の業務委員会を開催しました。

会社は、主な取り組みとして、(1)教育機会の充実による社員能力の更なる向上、中央新幹線を含めた三世代の鉄道事業の運営や新型コロナウイルス感染症の拡大による生活様式変化への対応等で、①ICTリテラシー向上に向けた教育施策の展開、②マネジメント力の向上を図る研修の実施、③女性活躍を推進する研修等の実施、④各種選抜研修のブラッシュアップ、⑤One-STEP活動の推進、⑥海外人材の育成、(2)安全意識、規律・規範意識の更なる醸成、(3)職場内・組織間における対話の量と質の向上、(4)若手社員の早期育成、(5)総合研修センターを活用したJR東海グループとしてのレベルアップについて説明を行いました。また会社は、この先の効率化施策の柱ともなり得る、ICTリテラシー向上を図る研修の実施とRPA研修について説明しました。

本部は、「リニア関連の教育は必要ない。リニア建設は不要であり、経費も多額に及ぶことから、計画を中止とすれば社員への賞与を含めて還元できる」と強く主張しました。

〈主なやり取り〉

組合：令和2年度の研修の実績と令和3年度の研修の予定はどうなっているのか。

会社：令和2年度は252講座でのべ12,000名で計画通り、令和3年度は249講座でのべ約12,000名を計画している。

組合：ICTリテラシーの向上とは何か。

会社：ICT全般に対して理解を含め活用できるようにしていきたい。既存の仕事を活用して、ブラッシュアップできるものがあるかどうかこういうところで教育をやっていく。

組合：ICTの活用についてのイメージはNTTのCMのようなイメージなのか。

会社：イメージ的にはあのような感じである。離れた所で操作する。離れていても近くにいるようなイメージだ。

組合：この教育についてはN T T関連から行うのか。

会社：N T Tとは別の会社で専門的で専門的に技術を持っていて、教育をしている会社と協力をしながらやっていく形になる。当社の中でも教えられることは教えていくし、最新技術では他社の力を借りた方が教育効果が高いものものは応じてやっていく。

組合：新設されるR P A研修とは何か。

会社：Rロボティック・Pプロセス・Aオートメーションのことで、P Cで作業する所に人間が機械的に行っているのをプログラミングで自動化していく。当社もこれらを使いこなせるようにするため新設した。

組合：A Iを活用するという趣旨ではないのか。

会社：A Iの活用ではなく、何も考えずに人間が行えることを機械に任せる。

組合：海外人材の育成についてはどう考えているのか。

会社：2つ趣旨があって、1つ目は海外のお客様が国内に来られた際、接客がしっかりできるように教育する。2つ目は、当社が海外展開を進めるにあたって海外で仕事をしていく人材を育成したい。後者はコロナ情勢であり海外に行くのが難しいので情勢を見ながら判断していく。

組合：「採用数増加を背景とした世代交代」とあるが、今年度は採用数を減らしたのではないか。

会社：若干減らしている。これまで比べれば減っているが、採用数は多いことに変わりはない。

組合：自己啓発については強要のないようにすべきだ。現場は困っている。

会社：あくまでも自己啓発であり、自分自身でやってもらっている。

組合：「女性活躍の推進」とあるが、具体的な内容はどのようなのか。

会社：計画段階ではあるが2つ考えている。1つ目は女性自身がどういうキャリアを築いていくのか、キャリア形成イメージをつくらせる研修をやっていきたい。2つ目は管理者を対象として、女性活躍の意義でなぜ女性活躍が必要なのかを教育していきたい。

組合：新型コロナウイルスでの教育への影響はあったのか。

会社：新入社員研修が一番大きかった。去年は在宅研修に切り替え、体系が変わった。しかし中身については変わらなかった。研修センター内についてもルールをつくり、徹底させた。

組合：今年の新入社員教育もリモートで行うのか。

会社：令和3年度は半分集めて半分在宅で行う。これを交互で交代してやっていく。2週間程度で交代することを考えている。

組合：ハラスメント教育については記載がないがやっていくのか。

会社：これまでも定例的にしっかりやってきた。これからも継続的にやっていくことが必要だと考えている。

組合：法令に定められていないものでも自主的にやるべきでないか。
会社：ハラスメントも多様にあるが、定められているものではなくても事実関係を把握し検証していく。
組合：「One-STEPの推進」とあるが、新型コロナウイルスの感染状況によっては柔軟に対応をするのか。
会社：緊急事態宣言下においては行っていなかった。今後は感染対策を行い、One-STEPの指定をしていく。
組合：職場内で蔓延した場合は活動は行うのか。
会社：職場内で流行することは考えていない。感染防止策を取って対応していく。仮に職場内で蔓延するようなことがあれば活動は厳しいと思われる。状況に応じて対応する。
組合：「中央新幹線も含めた3世代鉄道事業の運営」とあるが、組合としては今の厳しい環境で夏季手当が2.2ヶ月となり、リニアは辞めた方が良く考えているが、このための教育は経費の無駄である。この費用の分は夏季手当に反映すべきであった。
会社：財務については長期借入れをしており、鉄道からの利益とは別に、借入れているもので建設をしていく。健全経営を維持しながら着実に進めていく。
組合：このままでいけば投資の費用は、借り入れた額を超えないか。
会社：これも含め借り入れた分でしっかりやっていく。

以 上